



くまなく調査する市職員

淀川水系では八木町と亀岡市のみで生息が確認されており、国の天然記念物に指定されている「アユモドキ」の生息調査が大堰川の寅天堰で行われました。調査当日は、タモ網とバケツを持った市の職員らがブロックの隙間や河原を探しました。約2時間の調査でアユモドキを見つけることはできませんでしたが、昨年行われた調査では見つかっており、今後も調査を続けていきます。

(5/26 アユモドキ保全活動・八木町)

「天然記念物『アユモドキ』を探す」

南丹市立図書館が募集していたイメージキャラクター(うさぎ)の愛称が、寄せられた450通の応募の中から、南丹市立胡麻郷小学校3年生の東映佑君が考えた「なびっと」に決まり、南丹市日吉町生涯学習センターで名付け親認定証贈呈式が行われました。認定証とストラップが贈られた東君は「眠れないほどうれしい。学校の友達にも認定されたことを教えました」と感激していました。

(4/22 図書館キャラクターの愛称決定・南丹市)

「『なびっと』に決定しました」



愛称の名付け親になりニッコリの東君

「感謝、気配り、工夫、継続、心磨き」

(5/25 日吉福祉大学 紅が丘大学開講式・日吉町)



山本氏の「掃除は心磨きや」との講演に、うなずく受講生

日吉福祉大学・紅が丘大学の平成18年度開講式が、日吉町生涯学習センターで行われ、約200人の受講生が出席しました。粟路学長の式辞、牧野教育長の祝辞に続き、本年度講座の説明がありました。その後、記念講演ではフリーライター山本健治氏が、12年間毎朝JR駅前で掃除ボランティアを続けて悟った、人が大事にすべき「かきくけこ」について、飾らない口調で講演をされました。

「親子のふれあいを大切に」

(5/17 こつぶっこ広場・日吉町)

1歳児から保育所入所までのお子さんと保護者の方を対象に、旧日吉町の時から取り組まれている「こつぶっこ広場」が南丹市日吉は一とびあで開催されました。親子のふれあいを大切にするとともに、同年代のお子さんを持つ親子同士の交流の場として、親子でおやつを作ったり川遊びをするといった取り組みを年間をとおして行っています。今回は日吉町の民生児童委員さんと一緒にミニ運動会が行われました。子どもたちは広い体育館の中を走りまわって、用意されたゲームを楽しんでいました。



ゲームに夢中の参加者